

令和6年度 更木小学校教職員 働き方改革アクションプラン

－ はたらきやすく はたらきがいのある職場をめざして －

更木小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R4～6年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状	2 目標・目指す姿
<p>【定量的現状】</p> <p>◆「北上市教職員働き方改革プラン(R4～6年度版)」による目標達成状況について</p> <p>○時間外在校等時間が月80時間以上の者を前年度同様ゼロにする。</p> <p>・R4年度実績:2人 ⇒ 令和5年度実績:3人(月別延べ人数)</p> <p>○時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。</p> <p>・R4年度実績:0人 ⇒ R5年度実績:3人(月別延べ人数)</p> <p>【定性的現状】</p> <p>○教職員の意識</p> <p>・時間外勤務時間の縮減を心がけている。</p> <p>・時間外勤務をしなければ、現状を維持できないという状況もある。</p> <p>○管理職のマネジメント</p> <p>・行事等の意義や教育的効果から見直しや精選を行い、教育活動と業務の改善を図る。</p> <p>・定期的に安全衛生委員会を開き、業務の見直しや改善を図る。</p>	<p>【R6年度目標】</p> <p>○北上市教職員働き方改革プラン(R4～6年度版)」に掲げる R6年度の目標を達成します。</p> <p>○本校教職員の働き方に対する肯定的実感を向上します。</p> <p>【目指す姿】</p> <p>○子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から、働き方の見直しが図られている。</p> <p>○業務改善について、教職員から積極的に提案がなされている。</p> <p>○働き方改革に係る課題について、教職員で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。</p> <p>○管理職が、日頃から教職員と情報共有や意見交換を行っている。</p> <p>○教職員が、連携・協働して業務を推進し、チームとして学校を運営することができている。</p> <p>○教職員が、いきいきとやりがいをもって子どもたちに向き合うことができている。</p> <p>○教職員が、休憩の時間を確保できている。</p>



3 (2を達成していくための)具体的取組内容		
教職員の健康管理	学校における業務改善の推進	学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
<p>○分掌や日常業務の在り方について検討・改善します。</p> <p>○管理職が、積極的に声をかけ、教職員とのコミュニケーションを図ります。</p> <p>○校務支援システムによる客観的な勤務時間の把握をします。</p> <p>○月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から要因を把握し、業務の見直しやスクラップ等による改善の方向性を話し合います。</p> <p>○教職員の心身の疲労や負担の軽減を図るため、夏季・年末年始等の学校閉庁日の設定を実施します。</p> <p>○健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。</p>	<p>○働き方改革に向け、業務改善の取組について検討します。</p> <p>○取組を実施することにより、業務の効率化を進めます。</p> <p>○職員の意識改革を目的に、月に1度の「ノー残業デー」を実施します。</p> <p>○学校における働き方の取組状況を振り返る場として定期的に安全衛生委員会を設定し、働き方改革の方向性について話し合い、実効的取組につなげます。</p> <p>○各種研修、会議、行事等については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、必要性和持続性の観点から見直し、実施します。</p> <p>○会議の進め方については、資料の事前配付、説明項目の精選等により、時間短縮・合理化を図ります。</p>	<p>○登下校の交通安全指導や見守りについては、地域の理解・協力を得て対応します。</p> <p>○学校及び教職員が担う業務の明確化・適正化、適切な役割分担を進める観点から、PTA 等の関係団体と連携・協議するとともに、当該団体に係る業務の負担軽減を要請しながら、働き方改革の実現に向けて連携・推進します。</p> <p>○教職員参加の地域行事等については、学校の実情を踏まえて精選を行います。</p> <p>○地域コーディネーターやコミュニティ・スクールの機能を有効に活用し、教職員の負担軽減を含め、学校と地域が一体となった教育活動を推進します。</p>

令和6年4月1日 北上市立更木小学校長 小松 由香里

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R4～6年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】

○市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

・令和4年度実績(6月調査) 7人 割合 1.2%
 ・令和5年度実績(6月調査) 9人 割合 1.6%

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者を段階的に縮減し、令和6年度末までにゼロにする。

・令和4年度実績(6月調査) 38人 割合 6.7%
 ・令和5年度実績(6月調査) 34人 割合 6.2%